

令和 年度 技術士第二次試験答案用紙

受験番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

技術部門		部門
選択科目		
専門とする事項		

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

問題番号	Ⅱ-2-地域公共交通
------	------------

← 解答する問題番号（1又は2）を点線の枠内に必ず記入すること。
○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1. 調査、検討すべき事項とその内容									
(1) 上位・関連計画の調査									
自治体の総合計画等から、都市の目指す方針を把握する。また、立地適正化計画等の関連計画から都市機能の誘導方針を確認する。これらの計画に位置付けられている都市機能が本事業で誘導できるか検討する。									
(2) 区画整理手法の検討									
都市計画基礎調査等から、既成市街地での宅地や低未利用地の位置を把握する。また、インフラ整備の 必要性 を把握するため、 整備状況や都市計画情報を調査する 。これらから、対象区域に適する集約換地や敷地整序型土地区画整備事業等の区画整理手法を検討する。									
(3) 権利関係の把握									
事業対象となりうるエリアでの、空き家や空き地等の権利者を確認する。また、登記情報から土地所有者の数や所有権以外の権利等を確認する。加えて、これらの情報を基に、所有者不明土地の有無を確認する。									
2. 業務を進める手順と留意点、工夫点									
① 課題の整理									
調査結果を基に、 事業を進める上での課題を整理する 。 特に、地域固有の課題把握に留意する 。									
② 施工区域及び誘導施設整備区の設定									
事業 の施行区域や誘導施設整備区を設定する。設定に際しては、移転補償物件は必要不可欠な物件のみを対象とする等、 事業区域が 最小限となるよう留意する。									

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24字×25字

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

また、法定申出による手戻りの発生を抑制するため、申出基準を工夫することにより、認可前に申出量等を固め、換地設計の変更が生じないようにする。

③ 目指すべき都市の方針の検討及び施策の立案

課題や関連計画を踏まえ、土地利用・誘導施設の方針を検討するとともに、方針を実現するための施策を立案する。検討にあたっては、アンケート等を行い地元の意向に沿った方針となるよう工夫する。

④ 地元との合意形成

検討した方針や施策について、地元説明会を通じて合意形成を図る。整備ステップを模式化するなど見える化を行い、円滑に合意形成できるよう工夫する。

⑤ 事業手法及び主体の選定

方針を実現するための事業手法及び実施主体を決定する。民間開発の機運が高まっている場合は、一体的整備を検討する等、地域の実情に合った事業となるよう留意する。

⑥ スケジュールの設定

事業完了までのスケジュールを設定する。

3. 調整方策

関係者との調整は、客観的な情報に基づき実施する。小規模な土地区画整理事業では、都市計画決定を必要としないことから、地元に対しては、一方的な情報提供ではなく、懇談会やワークショップを通じて双方向かつ具体的に調整する。以上